

目 次

第Ⅰ章 序 言	1
1 最近における発掘調査の進展	1
2 保存と整備	6
3 報告書の作成	9
第Ⅱ章 調査概要	11
1 調査地域	11
2 調査経過	15
A 第12次調査	15
B 第12次補足調査	15
C 第36次調査	16
D 第73次調査	18
E 第78次南調査	19
F 第78次北調査	20
G 第187次調査	21
3 調査日誌	22
A 第12次調査	22
B 第12次補足調査	22
C 第36次調査	23
D 第73次調査	25
E 第78次南調査	27
F 第78次北調査	29
G 第187次調査	30
第Ⅲ章 遺 跡	32
1 遺跡の形成	32
A 発掘前の地形	32

B	地形造成の変化	34
i	平城宮造営以前	34
ii	平城宮造営以降	34

2 遺構各説36

A	I期の遺構	36	E	V・VI期の遺構	74
B	II期の遺構	40	F	VII期の遺構	82
C	III期の遺構	54	G	VIII期の遺構	86
D	IV期の遺構	69			

第IV章 遺物89

1 瓦 塼89

A	軒丸瓦	89	C	丸・平瓦と刻印瓦	115
i	重圈文軒丸瓦	89	i	丸瓦	116
ii	単弁蓮華文軒丸瓦	89	ii	平瓦	118
iii	複弁蓮華文軒丸瓦	92	iii	刻印瓦	122
B	軒平瓦	104	D	道具瓦と塼	125
i	偏行唐草文軒平瓦	104	E	平安時代以降の軒瓦	128
ii	均整唐草文軒平瓦	104	i	軒丸瓦	128
			ii	軒平瓦	128
			iii	超昇寺について	129

2 土 器130

A	内裏内溝出土の土器	130	viii	東面築地回廊 S C 156 西側雨落溝出土土器	133
i	S D 7870出土土器	130	ix	南面築地回廊 S C 640 北側雨落溝・東楼 S B 7600雨落溝出土 器	134
ii	S D 7872出土土器	131	x	井戸 S E 7900排水溝 S D 2350出土土器	136
iii	S D 4752出土土器	132			
iv	S D 4743・4747出土土 器	132			
v	S D 4745出土土器	132			
vi	S D 4730出土土器	132			
vii	S D 4810出土土器	133			
B	土壙・井戸出土の土器	136			
i	S K 7909出土土器	136	ii	S E 7900出土土器	137

C 建物出土の土器	138		
i I期建物出土土器	138	iv IV期建物出土土器	141
ii II期建物出土土器	140	v V・VI期建物出土土器	142
iii III期建物出土土器	140		
D 特殊土製品・墨書土器・埴輪	144		

3 木製品・金属製品・石製品145

A 木製品	145	D 銭貨	148
B 鉄製品	146	E 石製品	148
C 銅製品	147		

第V章 平城宮の内裏149

1 平城宮「内裏」及び内裏地区をめぐる研究史149

2 奈良時代における歴代天皇の御在所の歴史的変遷165

A 天皇の居所に関する語彙の検討	165		
i 天皇の居所を意味する語彙	165	iii 天皇の居所に関わる宮殿	184
ii 天皇の居所に関わる殿舎	174		
B 歴代天皇の御在所の変遷	211		
i 元明天皇の御在所	211	vi 孝謙天皇初期の御在所	227
ii 元正天皇の御在所	214	vii 孝謙天皇中期の御在所	231
iii 聖武天皇前半期の御在所	216	viii 孝謙天皇后期の御在所	233
iv 聖武天皇后半期の御在所(1)	220	ix 淳仁天皇の御在所(1)	234
v 聖武天皇后半期の御在所(2)	224	x 淳仁天皇の御在所(2)	237
		xi 称徳天皇の御在所	238
		xii 光仁天皇の御在所	238
		xiii 桓武天皇の御在所	242

第Ⅵ章 考察……………251

1 屋瓦……………251

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| A 平城宮・京出土軒瓦編年の再検討…………… 251 | B 内裏における瓦の使用状況…………… 342 |
| i 軒丸瓦の変遷…………… 251 | i 軒瓦の組み合わせ…………… 342 |
| ii 軒平瓦の変遷…………… 282 | ii 遺構と軒瓦の時期対比…………… 347 |
| iii 平城宮・京出土軒瓦の再編年…………… 329 | iii 丸・平瓦と道具瓦の年代比定…………… 348 |
| | iv 瓦の分布と屋根復原…………… 350 |

2 土器……………370

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| A 平城京時代の土器研究の現状…………… 370 | |
| B 土器の群別と産地の同定…………… 371 | |
| i 土師器の群別…………… 371 | iii 群別と産地同定…………… 374 |
| ii 須恵器の群別…………… 372 | iv 宮・京の須恵器群別構成とその消長…………… 374 |
| C 平城京土器の大別…………… 375 | |
| i 土師器における器種の消長と法量変化…………… 377 | iv 須恵器の製作技法の変化…………… 381 |
| ii 土師器における製作手法の変化…………… 378 | v 施釉陶器…………… 382 |
| iii 須恵器における器種の消長と変化…………… 379 | vi 黒色土器…………… 383 |

3 遺跡……………384

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| A 内裏殿舎遺構の時期区分と変遷…………… 384 | |
| i 内裏正殿遺構の再検討…………… 384 | vi 内裏東殿舎地区と東南広場…………… 393 |
| ii 内裏区画の変遷…………… 384 | vii 第二次大極殿地区…………… 395 |
| iii 内裏正殿地区と御在所…………… 386 | viii 各期の造営年代…………… 397 |
| iv 内裏北殿舎地区…………… 389 | ix 廃都以後の内裏地区…………… 398 |
| v 内裏東北殿舎地区…………… 393 | |

B	内裏の位置と地割	401		
	i	内裏第Ⅰ期の地割	401	
	ii	内裏第Ⅱ期の地割	403	
	iii	内裏第Ⅲ期の地割	408	
	iv	内裏第Ⅳ期の地割	413	
C	内裏地区空間構造の歴史			
		的変遷	422	
	1	平安宮内裏の構造	422	
	i	平安宮内裏の構造とその機能	422	
	ii	平城宮第一次大極殿地区第Ⅲ-1期遺構の再検討	425	
	2	平城宮内裏地区遺構の構造とその歴史的変遷	431	
	i	平城宮内裏地区の遺構変遷および構造に関する既往の見解	431	
	ii	平城宮内裏地区の遺構の構造とその歴史的変遷	433	
	3	平城宮内裏地区の歴史的変遷に関する諸問題	445	
	iii	長岡宮第二次内裏「東宮」の空間構造	429	
4	結語			454
	別表			457
	英文目次			491
	英文要約			510

巻首図版

平城宮内裏第Ⅱ期の殿舎配置 (コンピュータ作図)

平城宮内裏第Ⅲ期の殿舎配置 (コンピュータ作図)

別表

1 建物遺構一覧表……………	458	11 丸瓦とⅡ期の遺構……………	478
2 遺構掲載頁・図面・図版対照表…	463	12 丸瓦とⅤ期の遺構……………	479
3 軒丸瓦分類表……………	465	13 平瓦とⅡ期の遺構……………	480
4 軒平瓦分類表……………	468	14 平瓦とⅤ期の遺構……………	481
5 平城宮・京出土軒瓦編年表……	471	15 小型丸瓦とⅡ期の遺構……………	482
6 第Ⅱ-1期の軒瓦とⅡ期の遺構…	473	16 小型丸瓦とⅤ期の遺構……………	483
7 第Ⅱ-1期の小型軒瓦とⅡ期の 遺構……………	474	17 小型平瓦とⅡ期の遺構……………	484
8 第Ⅲ-1期の軒瓦とⅢ期の遺構…	475	18 小型平瓦とⅤ期の遺構……………	485
9 第Ⅲ-2期の軒瓦とⅣ期の遺構…	476	19 割熨斗瓦とⅡ期の遺構……………	486
10 第Ⅲ-2期の軒瓦とⅤ期の遺構…	477	20 割熨斗瓦とⅤ期の遺構……………	487

表

1 地区設定の基準座標値……………	12	14 丸・平瓦・道具瓦出土一覧……………	357
2 中宮の利用事例……………	185	15 平城宮土器の大別……………	375
3 大極殿の利用事例……………	187	16 土師器の器種消長……………	377
4 平城宮出土軒瓦の時期区分……………	251	17 須恵器の器種消長……………	380
5 軒丸瓦の瓦当文様と外縁の変化……	252	18 平城宮内における主要区画座標 値一覧……………	402
6 成形台一本造りの変遷……………	275	19 内裏第Ⅰ期遺構座標値一覧……………	403
7 調整手法(瓦当裏面)の分類……………	277	20 内裏第Ⅱ期遺構座標値一覧……………	404
8 調整手法(瓦当裏面)の変化……………	278	21 内裏第Ⅲ期遺構座標値一覧……………	412
9 均整唐草文Ⅰの分類……………	284	22 内裏第Ⅴ期遺構座標値一覧……………	415
10 軒平瓦の叩き手法一覧……………	309	23 内裏第Ⅵ期遺構座標値一覧……………	418
11 平城宮における主要軒瓦の地域 別比率……………	343	24 平安宮内裏と平城宮内裏地区・ 長岡宮第二次内裏・平城宮 第一次大極殿地区第Ⅲ-1期 の殿舎対応表……………	445
12 内裏地域出土軒瓦の時期区分……………	346		
13 内裏における地区別軒瓦出土 比率……………	351		

挿 図

Fig.	
1	これまでの復原整備位置図 (1991年3月現在)……………7
2	調査地域と地区設定……………13
3	第12次調査・同補足調査地域の 地区割と主な遺構……………15
4	第36次調査地域の地区割と主な 遺構……………16
5	第73次調査地域の地区割と主な 遺構……………18
6	第78次南調査地域の地区割と主な 遺構……………19
7	第78次北調査地域の地区割と主な 遺構……………20
8	第187次調査地域の地区割と主な 遺構……………21
9	発掘以前の地形(1:1500)……………33
10	平城宮造営以前の地形(1:3000)…34
11	Ⅱ期の造成地形(1:3000)……………34
12	Ⅲ期の造成地形(1:3000)……………35
13	S E7900平面, 断面図(1:100)……48
14	S E7900南北断面図(1:60)……49
15	S E7900東西断面図(1:60)……49
16	S X4750, 4751, 4752平面, 断面図(1:100)……………51
17	S D7870北流部断面図(1:60)……52
18	S D7870東流部断面図(1:60)……53
19	S D7863断面図(1:60)……………58
20	S E7900, S D2350平面, 立面図(1:100)……………59
21	S C156西側溝, S X4260平面, 断面図(1:100)……………61
22	S X7866平面, 断面図(1:100)……62
23	S D7871平面, 断面図(1:60)……63
24	S X8056, 8057平面, 断面図 (1:100)……………65
25	S C640北側溝・S C247西側溝 (1:100)……………66
26	S D4810断面図(1:60)……………68
27	S D7872断面図(1:60)……………68
28	S D7925平面, 断面図(1:60)……69
29	S D4747断面図(1:60)……………72
30	S X7867平面図(1:60)……………80
31	軒丸瓦拓影 1……………91
32	軒丸瓦拓影 2……………95
33	軒丸瓦拓影 3……………99
34	軒丸瓦拓影 4……………101
35	軒平瓦拓影 1……………107
36	軒平瓦拓影 2……………111
37	軒平瓦拓影 3……………113
38	刻印瓦拓影(4:5)……………123
39	中・近世の軒瓦拓影(1:4)……………128
40	内裏内溝出土土器(S C640・ S B7600雨落溝)(1:4)……………135
41	S E7900埋土上層出土土器(1:4)…138
42	建物出土土器 1(1:4)……………139
43	建物出土土器 2(1:4)……………141
44	建物出土土器 3(1:4)……………142
45	墨書のある曲物底板片(1:1)……………146
46	井戸S E7900出土銭貨拓影……………148
47	蓮華文の分類……………253
48	外縁の分類……………253
49	複弁A系統軒丸瓦 1……………254
50	複弁A系統軒丸瓦 2……………255
51	複弁A系統軒丸瓦 3……………256
52	複弁A系統軒丸瓦 4……………257
53	複弁B系統軒丸瓦 1……………257
54	複弁B系統軒丸瓦 2……………258
55	複弁B系統軒丸瓦 3……………259
56	複弁C系統軒丸瓦 1……………260
57	複弁C系統軒丸瓦 2……………261

58	単弁A系統軒丸瓦 1	262	90	内裏第Ⅳ期の殿舎配置	392
59	単弁A系統軒丸瓦 2	263	91	内裏第Ⅴ期の殿舎配置	394
60	単弁B系統軒丸瓦	264	92	内裏第Ⅵ期の殿舎配置	396
61	単弁C系統軒丸瓦	265	93	Ⅶ- ₁ 期の建物配置	398
62	重圏文軒丸瓦	266	94	Ⅶ- ₂ 期の建物配置	399
63	飛雲文系軒丸瓦	266	95	Ⅷ期の建物配置	400
64	杵型一本造り模式図	271	96	平城宮内における内裏の位置	402
65	組み合わせ式成形台模式図	271	97	内裏第Ⅰ期の地割	403
66	均整唐草文の分類(1:6)	283	98	内裏第Ⅱ期の地割	404
67	均整唐草文Ⅰ(花頭形垂飾 り)(1:6)	285	99	S A 7593とS A 11370との位置 関係	406
68	均整唐草文Ⅰ(十字形・ \ast 形・ 逆T字形垂飾り)(1:6)	286	100	内裏第Ⅱ期の方眼地割と遺構配置	406
69	均整唐草文Ⅰ(変形垂飾り)(1:6)	287	101	S C 060 北側雨落溝西端の 遺構平面図	409
70	均整唐草文Ⅱ(1:6)	287	102	S C 156(第73次)平面,断面 模式図	410
71	均整唐草文Ⅲの系列と変遷(1:7)	289	103	S C 640 模式図	411
72	均整唐草文Ⅳの変遷(1:2)	291	104	内裏第Ⅲ期の地割	412
73	均整唐草文Ⅴの変遷(1:2)	292	105	内裏第Ⅳ期の地割	414
74	均整唐草文Ⅵの変遷	293	106	内裏第Ⅴ期の地割	415
75	均整唐草文Ⅶ(下段)と統一 新羅の軒平瓦(上段)(1:5)	294	107	内裏第Ⅴ期 S A 4761, 第1・2 次計画地割	416
76	偏行唐草文軒平瓦	294	108	第Ⅵ期の地割	418
77	重郭文軒平瓦	295	109	内裏の排水変遷	420
78	飛雲文軒平瓦	295	110	平安京内裏の空間構造(『新訂増 補故実叢書』大内裏図より)	423
79	外区区画の分類(1:3)	296	111	平城宮第一次大極殿地区第Ⅲ- ₁ 期殿舎配置図	426
80	顎形態の分類(1:4)	300	112	長岡宮第二次内裏殿舎配置図	430
81	6671の変遷(1:7)	316	113	平城宮内裏第Ⅰ期の空間構造	434
82	6663の変遷(1:6)	321	114	平城宮内裏第Ⅱ期の空間構造	436
83	平安初期の軒瓦(1:5)	341	115	平城宮内裏第Ⅲ期の空間構造	439
84	内裏地域出土軒瓦の比率	344	116	平城宮内裏第Ⅳ期の空間構造	440
85	内裏地域の軒瓦分布	352	117	平城宮内裏第Ⅴ期の空間構造	442
86	地区別出土軒瓦の比率	353	118	平城宮内裏第Ⅵ期の空間構造	444
87	内裏第Ⅰ期の殿舎配置	385			
88	内裏第Ⅱ期の殿舎配置	388			
89	内裏第Ⅲ期の殿舎配置	390			